

行政視察等報告書

令和元年8月14日

境港市議会
議長 柗 康 弘 様

会派名 無所属
代表者 景 山 憲



下記のとおり行政視察（調査・研修）を行ったので、その結果を報告します。

記

1 視察等期間	2019年7月31日（水）～8月1日（木）
2 視察等先 及び内容	<p>○2019年7月31日（水） △視察先 千葉県銚子市 △視察内容 「水産を活かしたまちづく」について 「外国人労働者の受け入れ」について 特に、銚子市は本市と同じ特定第3種漁港として、また、水産加工業も盛んであり、本市にとっても課題である2項目について調査・研究のため訪れたものである。 ○当日は、担当課からそれぞれ説明をうけた。</p> <p>○2019年8月1日（木） △視察先 東京都江東区 東京ビッグサイト △視察内容 東京ビッグサイトで開催された、「全国地方議会サミット」 チーム議会が地域をより良くするに参加したものである。</p>
3 視察等議員	景 山 憲
4 総 経 費	合計（1名）68,710円 1人当たり 68,710円 （地方議会サミット参加料 10,000円を含む） ※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て
所 見 等	以下のとおり

○銚子市

△視察内容：水産を活かしたまちづくりについて

外国人労働者の受け入れについて

■ 銚子市には、銚子魚港が所在し、この近年8年連続、水揚げ量日本一の漁港であり、一大消費地の東京の近郊である地理的なこともあり水産加工業も大きく立地している。昨年度は、イワシ、サバを中心に約25万トン、296億円の実績となっている。特徴として

- ・銚子魚港の管理は、千葉県が行っている。市の関与はない。
- ・水産物の高付加価値化の取り組みとして、漁港周辺にサバの缶ヅメを始めとする加工業が集積している。近年、高級食材である金目ダイのブランド化に成功している。
- ・水産業と観光、水産振興と市民の関わり合いについては、食の母里 銚子祭りとして 水産&農産の祭りを開催している。

金目鯛まつり・銚子港近海まぐろフェアのども開催され、にぎわうとのこと。

■ 外国人労働者の受け入れでは、水産加工業、農業の分野でも人手不足となっている。従来は、漁船員の技能実習生であった。現在、外国人登録2,195人に対して、技能実習生1,089人であり、このうち、487人が水産業に従事している。漁船員53人となっている。

外国人材は貴重な存在であり、今後も増えていることが予想される点は、共通する点である。銚子市でも、課題として日常生活上のトラブルの解消等今後に必要なことは認識している。ともに生かしたまちづくりを進める、とのことであった。

■所見

本市と同様、水産業を基幹産業とする銚子市への視察は、現在の水産業の抱える課題であると考え、漁港の基盤整備の状況と、水産加工業の状況、また、人手不足を補う外国人労働者の雇用の現況等を調査・研究のためであった。

銚子市もこれまでには、人口が10万人に達する時期もあったが、現在は61,100人となっている。東京近郊という立地にも関わらず、人口減少が続き労働力不足の面があり、産地維持からも今後外国人労働者との共生社会に向けての「まちづくり」が必要である。これからの課題である様であった。今後も様子を伺いながら、共生社会のあり方を考えていきたい。

○東京ビッグサイト 全国地方議会サミット2019

「チーム議会が地域をより良くする」

△内容 第1日目の講座を受講したものである。

{基調講演} 「なぜ今 チーム議会 が必要なのか」

「NHK地方議員2万人アンケートのホンネ」

「チーム議会に職員だからできること」

「「チーム議会の視点から見る議会・議員の役割」等を受講

△主な視点

- ・ 議会の最大の仕事は、決定することである。
- ・ 議会改革とは議員の質の改革が真の改革である。
- ・ 委員会において、事務局からの提案もありでは。
- ・ 市民に大きく影響のある議案などでは、公聴会、参考人招致等の開催も考えるべきである。

△所見

久方ぶりに基本的な視点について、議会として、市民の負託に応え、責任を持つべきこと、また、必要に応じて公聴会の開催等や議会として出来る限り決定に対する説明責任を果たすことの意味。今後の活動に活かす必要性を再認識できた。

以上報告します。